

# ガイダンス

2016/04/08

自由研究セミナー

サブタイトル：現実の経済・社会問題を考える

担当者：倉地真太郎

# 自己紹介

- ▶ 名前：倉地 真太郎（くらち しんたろう）
- ▶ 出身地：横浜
- ▶ 出身大学：慶應義塾大学経済学部
- ▶ 専門：財政学、社会政策

# 自由研究セミナーとは？①

- ▶ いわゆるミニ・ゼミみたいなもの。
- ▶ そもそもゼミとは？
  - －経済学部は3年時よりゼミが始まる。
  - －教授の指導のもと、少人数で専門的な勉強・研究を行う。
  - －3年の終わりに三田際論文（通称三田論）、4年の卒業までに卒業論文を執筆する。
  - ※ 卒業論文＝所属するゼミ単位で認められる単位。
  - ※ 卒業論文を執筆しなくても卒業はできる（経済学部）。

# 自由研究セミナーとは？②

- ▶ 学生の自主性が求められる。
- ▶ 担当教員との距離が近い。
- ▶ 講義の授業と違って、アウトプットも重視される。
- ▶ 初学者でも参加しやすい。
- ▶ やりたいテーマを見つけやすい。
- ▶ 普通の授業よりも相応の準備が必要。

# 授業のテーマ

- ▶ 格差、貧困、多様性の問題について
- ▶ 財政問題（税制の再編や財政赤字）
- ▶ 経済政策（アベノミクスなど）
- ▶ 社会保障制度の問題 etc.

# 授業のスケジュール

- ▶ 4～6月： 文献輪読（2～3冊）
  - ▶ 7月、9～10月： ディベート
  - ▶ 11月～12月： 懸賞論文に挑戦？
- ※ 論文執筆については、受講者と相談の上決める。

# 文献輪読①

- ▶ 文献輪読とは、授業や研究会のメンバーの間で指定の書籍や論文を読み、文献の理解や評価について議論を行うことこと。
- ▶ この授業では、1冊2～3回で、2～3冊読む予定（授業では通読しない）。
- ▶ 持ち回りでレジュメ（資料）を作成してきてもらい、それをもとに全体で議論する。

## 文献輪読②

- ▶ アセモグル,D. & ロビンソン,J. (2013) 『国家はなぜ衰退するのか(上) (下) :権力・繁栄・貧困の起源』 早川書房。ISBN-13: 978-4152093844
- ▶ アトキンソン,A.(2015) 『21世紀の不平等』 東洋経済新報社。ISBN-13: 978-4492314708
- ▶ ディートン,A.(2014) 『大脱出――健康、お金、格差の起源』 みすず書房。ISBN-13: 978-4622078708
- ▶ ハージ,G.(2008) 『希望の分配メカニズム――パラノイア・ナショナリズム批判』 御茶の水書房。ISBN-13: 978-4275005595
- ▶ バナジー,A. & デュフロ,E. (2012) 『貧乏人の経済学 - もういちど貧困問題を根っこから考える』 みすず書房。ISBN-13: 978-462207651

# ディベート

- ▶ 毎回テーマを決めて、グループに分かれて議論（司会、主張1、主張2等）。
- ▶ 単にディベートのスキルを競うのではなく、また個々の本音をぶつけるのでもなく、事実や論理に基づきながら、論点や課題を明確化していくことが目的。
- ▶ 主張や反論の根拠を示すためには、それ相応の準備が必要。

# 論文執筆

- ▶ 本格的な研究論文というよりも、アカデミック・ライティングの基礎を学ぶと同時に、受講者の問題関心を深めることを目的とした論文執筆。
- ▶ 執筆人数やテーマは、受講者と相談の上決める。できるだけ受講者の希望に添って決める。